

はじめに

我が国では少子高齢化社会が進行して、国公立大学、短期大学の経営環境は一層厳しくなっています。さらに、大学設置の規制緩和等により新設の大学・学部・学科等が増加し、経営環境が厳しさを増す中で、競争が激化しています。

そのような状況に対応するため、国公立大学、短期大学は各大学の地域への貢献、教育研究の特色、社会が求めている人材の育成等が十分であるか、早急に自己点検を行い、今まで以上に経営の見直し・改革を行っていく必要があります。今回、全国の国公立大学、短期大学において、経営基盤強化に向けた成功事例等の調査を実施し、専門家会議を中心に報告書をまとめました。

専門家会議のメンバーは、国公立大学・短期大学の経営に造詣の深い団体、研究者に参加していただきました。特に今回の報告書は訪問調査を実施し、国公立の垣根を超え、様々な視点から成功事例のポイントを解説しています。

この報告書は「大学経営強化の事例集」と題し、各大学の自主的な取組みを支援・促進することを目的としたものです。従って、これらの事例をそのまま実行していただきたいというのではなく、各大学が経営改善を実施するうえでのヒントとなり、一層の発展と教育の質の向上を図る一助となれば幸いです。

最後に今回の訪問調査にご協力いただきました関係各位に心からお礼を申し上げます。

平成19年3月

大学経営強化調査研究委託事業専門家会議 座長
多摩美術大学 参与

柿本 静志